

| 部課名 | | 防災安全部防災課 | | | | | | | | | | | |
|------------|----------------|---|--|--------------------------|-------------------|----------|--|---|---|---------------------|----|------------------|---|
| 課の使命 | | 市民や来訪者の生命、身体、財産を守るため、災害や災害に対する備えについての知識や関心を高めていただくために必要な情報の周知を行うとともに、関係機関・団体と連携し災害対応することで、「市民が安心できるまち」を目指します。 | | | | | | | | | | | |
| 実行計画(年度目標) | | | | | | | | | | | | | |
| 順位 | 取組項目 | 計画 類型 | 年度目標設定 | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
| | | | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗 状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 成果 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 1 | 災害時における避難体制の充実 | — | <ul style="list-style-type: none"> 避難施設開設用物資の整備を実施します。 避難施設ごとの避難者数の差に対応するため、各地区の備蓄数量を最適化します。 | 避難者用備蓄物資の再配備箇所数 | 6箇所 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 既存スペースの活用及び実施時期について、4月に町田第四小学校外5校において、施設管理者と協議し、概ね配備場所の調整等が完了しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き既存スペースの活用について施設管理者と調整を行い、年度内に避難者用備蓄物資の再配備を完了します。 | 避難者用備蓄物資の再配備計画に基づき、町田第三中学校に防災備蓄倉庫1基を新設しました。そのほか、小山中央小学校、真光寺中学校、鶴川第三小学校、町田第四小学校、玉川学園コミュニティセンターの5施設について、空き教室等のスペースを活用し、再配備を完了しました。 | 6箇所 | C | C:目標水準を達成したためです。 | 今後も定期的に災害備蓄倉庫施設等の状況を確認し、適正な備蓄配備に努めます。 |
| 2 | 自主防災リーダーの育成 | 未来づくりプロジェクトかつ重点事業プラン | <ul style="list-style-type: none"> 地域の自主的な防災活動の更なる充実を図るため、防災リーダー育成事業で養成した自主防災リーダーのフォローアップ講習会を実施します。 | 自主防災組織リーダーフォローアップ講習会修了者数 | 32人/年 (延べ179人) | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 2021年度の講習会実施に向けて、6月に学識経験者等と地域の実情にあわせ、感染症拡大防止の観点に重きを置いた実施内容を協議しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 11月27日に感染症拡大防止や要配慮者支援をテーマとした講習会を実施します。 講習会后、2022年度以降に向け、5年間の総括を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> 予定どおり講習会を実施し、修了者人数の目標値を達成しました。今回は、新たな試みとして、総務省の災害伝承プロジェクトに応募し、オンラインを活用した、震災被災地での避難施設運営経験者から生の声を講話として取り入れ、参加者から評価を頂きました。 | 33人/年 (5年延べ180人) | C | C:目標水準を達成したためです。 | 新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を見極めながら、講習会の実施方法や参加可能人数および内容等を工夫して、意義のある講習会を実施していく必要があります。 |

| 順位 | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|----|---------|----------|---|------------------------------------|--|----------|--|---|--|--|----|---|---|
| | 取組項目 | 計画 類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗 状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 成果 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 3 | 消防団員の確保 | 個別 計画 | <p>①消防団員を確保するため、消防団幹部による会議に市職員が出席し、消防団員確保策を検討し、連携した取り組みを実施いたします。</p> <p>②消防団の活躍や活動の魅力を各広報媒体を活用するなど積極的にPRしていきます。</p> | <p>①消防団員数</p> <p>②消防団員募集PR活動回数</p> | <p>①2935人/年 (年度末の団員数583565人) ※当初は2021年2月時点の団員数554名から29人増の583名を年度目標としておりましたが、4月時点の団員数が530人であったことから、35人増の565人を目標に変更しました。</p> <p>②10回/年</p> | △ | <ul style="list-style-type: none"> ・団員数524名(9月末現在) ・消防団と連携し製作した募集のぼりおよび募集カードを、全ての分団に配布し、市内全地域において団員募集活動に大いに活用しました。 ・公社住宅に入居する消防団員の家賃割引実施のため、東京都住宅供給公社と協定締結に向け、詳細について具体的な協議を開始しました。 ・消防団幹部による会議に市職員が出席し、消防団員応援の店の拡充や、機能別団員の導入など、団員確保策を共に検討しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・団員数を目標値まで確保するべく、引き続き非対面でのPR手法を検討し実施していきます。 ・東京都住宅供給公社との消防団員に対する家賃割引に係る協定締結を目指します。 ・消防団と検討した施策の実施に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・対面での募集活動、イベント時におけるPRなどが思うように実施できない状況にありましたが、新たに作成した募集ツール(のぼり旗、カード)を市内全域に展開し、40名以上が新規に入団しました。 ・市職員の入団者を増やすため、庁内においてPR活動をおこないました。また、東京都住宅供給公社との消防団員に対する家賃割引に係る協定を締結しました。 ・市ホームページの消防団員募集ページを見直し、活動内容や装備を写真を交えてわかりやすく紹介するなど、内容の充実を図りました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・マイナス6人/年(年度末の団員数524人) ・11回/年 | D | <p>D:様々な取り組みを進めましたが、目標を達成することができなかったためです。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面での募集活動が困難な状況にあることから、感染リスクがなく、効果的な募集活動や広報に引き続き取り組んでいく必要があります。 ・ある程度の入団者はありましたが、退団超過の状態が続いているため、引き続き団員募集や退団防止の取り組みの充実に努めていきます。 |

| 順位 | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|----|-----------|----------|---|--------------------------|------------|----------|--|---|---|---|----|------------------|--|
| | 取組項目 | 計画 類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗 状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 成果 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 4 | 災害対応訓練の実施 | 個別 計画 | ①震災対応力の向上を図るため、総合防災訓練を実施します。 ②水災対応力の向上を図るため、総合水防訓練を実施します。(実働訓練・図上訓練) | ①総合防災訓練の実施 ②総合水防訓練の実施 | ①実施 ②実施 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 10月17日に総合防災訓練を実施するため、5月の防災会議(書面会議)にて、実施概要案の承認を得ました。 また、5月の第1回全機関会議(書面会議)にて、実施内容について各機関に周知しました。 総合水防訓練として、5月～6月に実働訓練(個別訓練)、7月26日に図上訓練を実施しました。 図上訓練後、各対策部から意見収集を行い、訓練の想定やシステム運用についての振り返りを行いました。 | <ul style="list-style-type: none"> 10月17日に感染症感染拡大防止対策を講じた総合防災訓練を実施します。また、更なる災害対応力の向上を図るため、訓練の振り返りを行います。 総合水防訓練(個別訓練、図上訓練)の実施結果を検証し、2022年度以降の訓練に向けた課題の整理を行います。 | <ul style="list-style-type: none"> 10月～2月に総合防災訓練の個別訓練(町田市消防団、町田消防署、町田警察署、南大沢警察署)を実施しました。 市の全ての対策部において震災時の対応訓練を実施しました。 5月～6月に総合水防訓練の個別訓練(町田市消防団、町田消防署、町田警察署、南大沢警察署、町田市)を実施しました。また、7月26日に図上訓練を実施しました。 訓練実施結果の提出を求め、その中に記載のあった、反省事項、要望事項及び提案を集約し、来年度以降のより実践的な訓練に繋がります。 | <ul style="list-style-type: none"> 総合防災訓練実施(実働訓練) 総合水防訓練実施(実働訓練、図上訓練) | C | C:目標水準を達成したためです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実災害に即した、より現実的、実践的な訓練を推進していく必要があります。 ・各種感染症感染防止を考慮した避難施設の開設が必要となるため、「町田市避難施設感染防止対策マニュアル」の周知と各避難施設ごとの避難施設開設訓練を、機会を捉え、実施していきます。 |

| 順位 | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|----|--|----------|---|--|--------|----------|--|---|--|--------|----|------------------|--|
| | 取組項目 | 計画 類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗 状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 成果 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 |
| 5 | 町田市事業継続計画の修正 | 個別 計画 | <ul style="list-style-type: none"> 町田市事業継続計画(地震編)の修正にあたっては、町田市地域防災計画(2020年度修正)を反映します。 修正にあたっては、総合防災訓練や各対策部訓練の実施・検証結果、各対策部マニュアルの修正についても反映します。 | 町田市事業継続計画の修正 | 修正完了 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 7月開催の防災対策推進本部会議(兼 防災計画検討委員会)にて修正方針を説明し、承認を得ました。 庁内に照会を行い、修正内容の調整を行いました。 「町田市災害時受援計画」との整合を図るため企画政策課と適宜連携して修正作業を進めました。 | <ul style="list-style-type: none"> 庁内からの回答文書の集約後、非常時優先業務の整理を行います。また、人員の配分調整手順の明確化等を行い、修正案の取りまとめを行います。 「町田市災害時受援計画」との整合を図るため企画政策課と連携を図ります。 2月に防災対策推進本部会議を開催し、修正案の提示を行い、3月に修正を完了します。 | <ul style="list-style-type: none"> 修正にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策から第1回町田市防災対策推進本部会議等をWeb会議で行い、滞りなく修正作業を実施することができました。 第2回町田市防災対策推進本部会議において承認を得て、修正を完了しました。 | 修正完了 | C | C:目標水準を達成したためです。 | 震災対応図上訓練を実施することで、今年度修正した町田市事業継続計画(地震編)や各対策部マニュアルの検証を行うとともに、地震災害に関する課題の抽出を行います。その結果を受けて、地域防災計画の修正につなげていきます。 |
| 6 | <p>(仮称)町田市水害ハザードマップ町田市洪水・土砂災害ハザードマップの全戸配布</p> <p>※名称決定に伴い修正しました。</p> | 個別 計画 | <ul style="list-style-type: none"> 洪水用と土砂災害用で2種類となっていたハザードマップを、(仮称)町田市水害ハザードマップ町田市洪水・土砂災害ハザードマップとして1種類(6地区)に統合して低コストで分かりやすいものとし、全戸配布を行います。 ※名称決定に伴い修正しました。 市民や自主防災組織が風水害時に適切な避難行動を取ることができるよう情報面の充実を図ります。 | (仮称)水害ハザードマップ 町田市洪水・土砂災害ハザードマップ 全戸配布 | 全戸配布完了 | △ | <ul style="list-style-type: none"> 6月に作成業務委託契約を締結しました。 土砂災害警戒区域等のデータについては、東京都と調整し、最新のデータ取得に努めました。 委託業者のコロナウイルス感染症感染による業務中断があったため、スケジュールの見直しを行いました。 | <ul style="list-style-type: none"> 11月に市内全世帯・全事業者分の印刷を行い、12月に全戸配布を完了します。 | 当初、12月に全戸配布予定でしたが、出水期に近い時期での配布が効果的であるという観点から2月～3月にかけて全戸配布しました。併せて町田市ホームページでも公開し、周知に努めました。 | 全戸配布完了 | C | C:目標水準を達成したためです。 | 洪水・土砂災害ハザードマップを用いて、市民や自主防災組織が、風水害へのさらなる知識や対策の向上を図っていただけよう取組みを進めていきます。 |

| 順位 | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | | |
|----|------------------------|----------|--|--------------------|-------|----------|---|---|--|-------|------------------------|------------------|--|--|
| | 取組項目 | 計画 類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗 状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 成果 | 評価 | 評価の視点 | 課題と対応 | |
| 7 | 職員の能力や意識をさらに高めるための取り組み | 個別 計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応能力をさらに高めるため、各種研修や訓練を実施します。 ・職員の意識向上につながる研修会を実施します。 | 研修会及び訓練の実施回数 | 計6回 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・4月に、転入者、新規採用職員向け研修会を実施しました。 ・5月に、日本気象協会の研修を実施しました。 ・6月に、大雨対応を想定した災害統括班訓練(研修会)を実施しました。 ・8月に、感染症対策を考慮した災害対応訓練を実施しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2022年1月頃に、各部労働安全衛生委員会実施研修(健康教育)である「防災安全部メンタルヘルス研修」を、部内研修と兼ねて実施します。 ・2022年2月に、2021年度の災害対応や訓練の効果確認を目的とした、災害統括班訓練(図上訓練)を実施します。 | 当初の予定どおり、職員の能力や意識をさらに高めるための研修会及び訓練を6回実施しました。 | 6回 | C | C:目標水準を達成したためです。 | 災害対応力の向上には継続的に訓練・研修会を行うことが必要です。2022年度以降も必要な訓練・研修会を実施します。 | |
| 8 | 職場環境向上に向けた業務効率化の取り組み | 個別 計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・職場環境向上に向けた業務効率化の取り組みとしてグループミーティングを行います。 ・各担当から選出した5～6名でグループミーティングを行い、他担当の業務知識の共有や、課全体のさらなる活発なコミュニケーションを促します。 ・年2回、職員アンケートを実施し、グループミーティングを通じた職場環境向上による業務効率化の改善度を比較し、改善を図ります。 | ①グループミーティングへの職員参加率 | ①100% | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、担当や職層の垣根を越えたグループミーティングを行い、コミュニケーションの促進に取り組むとともに業務効率化に繋がる取組を検討しています。 ・中間の職場環境職員アンケートを実施しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続してグループミーティングを実施していき、さらなる活発なコミュニケーションの促進と時間外勤務の削減に努めます。 ・年度末確認時での結果改善・向上に向けた取組をグループミーティングで検討します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グループミーティングで他担当や他職層と気兼ねない意見交換等を実施したことで、コミュニケーションが促進されました。その結果、問い合わせ対応の標準化を目的とした「窓口・電話対応Q&A集」を作成することができ、問い合わせ対応の時間短縮につながりました。 ・職員アンケートの結果、中間時に比べ年度末時は職場環境が改善されたと回答する職員が増加しました。 | ①100% | ②中間と年度末の比較によるアンケート結果改善 | C | C:目標水準を達成したためです。 | コミュニケーションの促進により、業務効率化に向けた新たな取り組みを実施することができました。今後も日々のコミュニケーションを意識し、さらなる職場環境の向上を目指します。 |

| 部課名 | | 防災安全部市民生活安全課 | | | | | | | | | | | |
|------------|------------------|--|---|---|---|----------|---|--|---|---|----|--|---|
| 課の使命 | | 市民生活安全課は、防犯や交通安全に関する情報の提供や知識の普及などを通じて、一人ひとりの犯罪被害や交通事故被害の減少に向けた行動を支援することで、町田市で暮らす人が安全に生活でき、町田市を訪れる人が安心して訪れることができるまちづくりを進めていきます。 | | | | | | | | | | | |
| 実行計画(年度目標) | | | | | | | | | | | | | |
| 順位 | 取組項目 | 計画 類型 | 年度目標設定 | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
| | | | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗 状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 成果 | 評価 | 評価の視点 | |
| 1 | 協働パトロールの実施・参加 | 未来 づくり プロ ジェ クト かつ 重点 事業 プラン | <ul style="list-style-type: none"> 官民協働パトロール隊によるパトロールを実施し、市民の防犯意識の向上を図ります。 市が主催する中心市街地のパトロールや、地域で実施されている防犯パトロールに参加し、安心感を与えることで体感治安の向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ①協働パトロール回数 ②協働パトロールの新たな方法の確立 ※新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、現状の協働パトロールを実施できるか不透明であるため、指標を見直しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ①4815回/年 ②協働パトロールの新たな方法の確立 ※左記の理由で指標を見直したため、修正しました。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 度重なる緊急事態宣言により、市が行うパトロールが実施できませんでした。 地域で行うパトロールには、地域団体と感染症対策について都度協議しながら取組んだことで、9回実施することができました。 コロナ禍においても、パトロール活動が行えるよう、新たな方法について、地域団体等と協議を開始しました。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、パトロールを実施できる方法について、地域団体等と協議を進め、新たな方法を確立します。 確立した新たな方法を、市や地域が行うパトロールにも取り入れて、目標達成を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> 今までの方法に加え、新しい方法でのパトロールを実施できたため、目標回数を上回ることができました。 10月から、市が行うパトロールを、コース見直しや参加者削減等の感染症対策を行ったうえで実施しました。 地域団体等が行うパトロールについて、実施団体等と協議し、青色回転灯装備車を活用した方法を確立し、コロナ禍でも実施することができました。 | <ul style="list-style-type: none"> ①30回 ②協働パトロールの新たな方法の確立 | C | C:下方修正した目標値を上回ることができたものの、当初の目標値は上回っていないためです。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍等の社会環境の変化に対応したパトロール方法を模索しながら、市民等と協働で行うパトロールを継続していきます。 |
| 2 | 安全安心まちづくり推進計画の策定 | 個別 計画 | <ul style="list-style-type: none"> 2022年3月に期間満了を迎える「町田市安全安心まちづくり推進計画」について、犯罪発生状況の傾向や社会情勢の変化などを把握したうえで、現在の課題を整理し、新たな計画を策定します。 | <ul style="list-style-type: none"> 計画の策定 | 3月策定完了 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 上半期は、予定通りに計画策定を進めることが出来ました。 5月に第1回経営会議にて、施策の方向性・考え方の柱の承認をいただきました。 8月に生活安全協議会にて、次期計画の事務局案について確認しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 11月に第2回経営会議にて、施策体系・指標について付議します。 12月から来年1月までの間、パブリックコメントを行い、予定通り3月に策定を完了します。 | <ul style="list-style-type: none"> 経営会議への付議及び生活安全協議会での確認を踏まえ、計画素案を作成しました。 その後、パブリックコメント及び生活安全協議会への報告を経て、予定通りのスケジュールで、計画策定を完了することができました。 | <ul style="list-style-type: none"> 3月策定完了 | C | C:目標水準を達成したためです。 | <ul style="list-style-type: none"> 策定した計画を着実に推進することで、安心して暮らせる地域社会の形成を実現します。 |

| 順位 | 年度目標設定 | | | | | 中間確認 | | | 年度末確認 | | | | |
|----|---------------------------------|----------|---|--|---|----------|---|--|---|---|----|--|---|
| | 取組項目 | 計画 類型 | 具体的な活動内容 | 指標 | 目標値 | 進捗 状況 | 上半期の状況や評価 | 下半期の予定 | 1年間の総括 | 成果 | 評価 | 評価の視点 | |
| 3 | 町田市交通安全行動計画の策定 | 個別 計画 | <ul style="list-style-type: none"> 2022年3月に期間満了を迎える「新・町田市交通安全行動計画」について、市内の交通事故の傾向や、社会環境の変化を把握したうえで、現在の課題を整理し、新たな計画を策定します。 | 計画の策定 | 3月策定完了 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 上半期は、予定通りに計画策定を進めることができました。 5月から6月に「町田市交通安全に関する市民意識調査」を実施しました。 7月に町田市交通安全行動計画策定及び推進委員会にて、策定方針を確認し、施策案の検討を行いました。 | <ul style="list-style-type: none"> 10月に町田市交通安全行動計画の素案を作成します。 12月に計画の素案に対する市民意見募集を行い、予定通り3月に計画策定を完了します。 | <ul style="list-style-type: none"> 交通安全に関する市民意識調査を実施するとともに、町田市交通安全行動計画策定及び推進委員会において計画素案を作成しました。 その後、委員へのヒアリングや意見募集を経て、予定通りのスケジュールで、計画策定を完了することができました。 | 3月策定完了 | C | C:目標水準を達成したためです。 | <ul style="list-style-type: none"> 策定した計画を着実に推進することで、交通事故のない安全安心な町田市を実現します。 |
| 4 | 業務カルテのテンプレート作成及び課の業務に係る急務対応の見直し | 個別 計画 | <ul style="list-style-type: none"> 課の業務に係る急務対応の課題を話し合い、課員全員で改善案を検討します。 改善案検討のプロセスを基に、「業務カルテ」のテンプレート案を作成します。 業務カルテのテンプレート案を急務対応に係る手順の改善に活用し、業務効率化を図ります。 業務カルテのテンプレート案の活用を基に見直しを行い、業務カルテのテンプレートを完成させます。 | <ul style="list-style-type: none"> ①業務カルテのテンプレート作成 ②急務対応の改善に係る取組 | <ul style="list-style-type: none"> ①業務カルテのテンプレート作成完了 ②急務対応の改善に係る取組の実施 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 上半期は予定通りに業務カルテの策定及び課の業務に係る急務対応の見直しを進めることができました。 5月に課の業務に係る急務対応の課題について課員全員で話し合い、改善案を検討しました。 検討した内容を基に、業務カルテのテンプレート案を8月に作成しました。 | <ul style="list-style-type: none"> 11月までに、業務カルテのテンプレート案を急務対応に係る手順の改善に活用します。 当初課内で急務対応に係る手順の改善を行う予定でしたが、更なる業務効率化のため、庁内関係部署にも業務改善への協力を依頼します。 12月に業務改善の成果を図るために、振り返りを行います。 | <ul style="list-style-type: none"> 急務対応の課題を課員全員で話し合い、その内容を基に業務カルテのテンプレート案を作成し、急務対応に係る手順を整理しました。 業務効率化を図るため、他部署とも連携して、業務カルテのテンプレート案を活用した急務対応の訓練を行いました。 訓練の結果を基に、他部署の意見も取り入れて、急務対応に係る手順を改善しました。あわせて、業務カルテのテンプレート案の見直しを行い、3月に作成が完了しました。 | <ul style="list-style-type: none"> ①業務カルテのテンプレート作成完了 ②急務対応の改善に係る取組の実施及び他部署との訓練を通じた更なる改善 | B | B:他部署の意見を取り入れて、急務対応の更なる改善を行うことができ、当初の目標を上回る成果となったためです。 | <ul style="list-style-type: none"> 業務カルテのテンプレートを活用して、引き続き課の業務を課員全員で見直していきます。 |